

科目ナンバリング		G-SCI11 60578 PO55			
授業科目名 <英訳>	数学・数理科学における国際ワークショップ International Workshop on Mathematics and Mathematical Sciences	担当者所属・ 職名・氏名	理学研究科 教授 理学研究科 助教	石本 健太 清水 一慶	
配当学年	修士	単位数	2	開講年度・開講期	2026・通年集中
曜時限	集中講義	授業形態	実習（対面授業科目）	使用言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】					
<p>本科目では、学生は、数学・数理解析専攻が主催し、大学院生等の若手研究者が参加する数学諸分野の国際ワークショップの準備（海外研究者とのやり取りを含む）と運営にも携わるとともに、他の参加者と研究討論を行う。これにより、国際ワークショップの実施技能を身に付けるとともに、数学を基盤とする様々な分野における海外の研究者と交流する機会を創出し、広い視野を持って国際的に活躍できる人材の育成を図る。</p>					
【到達目標】					
<p>(1)国際ワークショップの実施技能が身につく。 (2)各自の研究テーマについて、英語での研究討論ができるようになる。 (3)海外の研究者との直接的な交流を通じて国際感覚が養われ、知見が広がり各自の研究が進展する。</p>					
【授業計画と内容】					
<p>(1)授業担当教員によるオリエンテーション(4月中旬に実施) (2)授業担当教員の助言のもと、国際ワークショップの準備(招へい海外研究者とのやり取りを含む)・プログラムの作成等の運営に携わる(ワークショップ開催日まで)。また、各指導教員による指導の下、各自で研究討論等の準備を行う。 (3)ワークショップの実施・参加(開催当日) 本科目は「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース(通称:数学・数理科学コース)」を構成する科目であり、本科目の詳細は以下のコースwebサイトにも掲載:https://www.math.kyoto-u.ac.jp/ja/ktgu/training</p>					
【履修要件】					
<p>(1)大学院における主要な研究テーマが数学・数理科学を基盤とする分野であること。 (2)大学院横断教育コースの「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース(通称:数学・数理科学コース)」に登録すること。 (3)英語でコミュニケーションをとるための最低限の語学力があること。 (4)各自の研究について、何らかの形で発表(ポスター発表を含む)できること。 (5)本科目を受講することについて、事前に指導教員の承諾を得ること。 履修人数は5名程度までとする。</p>					
----- 数学・数理科学における国際ワークショップ(2)へ続く -----					

数学・数理科学における国際ワークショップ(2)

[成績評価の方法・観点]

国際ワークショップの準備・運営への積極的参加、英語での研究討論の様子、活動報告書（所定様式）により総合的に評価する。詳細はオリエンテーション時に説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
特に無し。

（関連URL）

<https://www.math.kyoto-u.ac.jp/ja/ktgu/innovation>（数学・数理科学イノベーション人材育成強化コースのwebサイト）

[授業外学修（予習・復習）等]

国際ワークショップの運営や準備において必要となる作業を行う。

（その他（オフィスアワー等））

数学・数理科学に関係した分野であれば、どの分野の方でも受講できます。将来、国際的に活動の幅を広げることについて意欲のある大学院生の積極的な受講をお待ちしています。受講希望者は、4月中旬（日程は上記ホームページ等でアナウンスします）に実施するオリエンテーションに必ず出席してください。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。